

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況（令和7年10月）

<野菜類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
れんこん	1,017	100.6	99.4	433	112.7	123.0	1,082	436
かんしょ	956	86.5	91.7	282	110.9	108.3	2,784	302
レタス	3,927	96.6	93.3	142	63.7	85.0	6,522	147
トマト	135	52.3	31.7	566	100.6	130.8	3,749	689

※出典: 東京都中央卸売市場統計

- れんこんは、引き続き県内各産地から入荷の最盛期。入荷量はほぼ前年、平年並みとなった。単価は、前年を1割以上、平年を2割以上上回る堅調な動きとなった。
- かんしょは、前月同様に入荷の最盛期。気温の低下とともに量販の秋商材売り場が広がる中、本県産の入荷量は前年、平年を1割前後下回り、単価は前年及び平年をやや上回る結果となった。
- レタスは、本県の出荷が本格化する中、生育初期の高温・乾燥の影響により一部産地の生育が遅れ、入荷量は前年及び平年をやや下回った。価格は大幅な高値で推移した前年を3割以上下回り、平年を1割以上下回った。
- トマトは、高温や黄化葉巻病の影響及び作付面積の減少もあり入荷量は前年を5割弱、平年を7割弱下回った。単価は中旬以降徐々に落ち着いたものの、高値で推移した前年とほぼ同等で、平年を3割程度上回った。

<果実類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
なし類	106	95.8	80.3	393	90.2	102.7	2,717	460
アールスメロン	119	92.0	87.5	519	105.8	113.5	280	949

- なし類(新高、にっこり等)は、栃木・福島を中心に本県産が入荷し、豊水・あきづきから晩生品種にシフトした。10月の入荷量は猛暑の影響により前年をやや下回り、平年を大幅に下回った。本県の単価は、不足感から高値となった前年よりやや安いものの、平年並みで推移した。
- アールスメロンは、茨城・静岡が主力の入荷。抑制栽培の終盤となる本県は、入荷量は前年、平年を下回り、価格は高かった前年並、平年を上回る価格で推移した。

<花き>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 千本	前年比 %	平年比 %	単価 円/本	前年比 %	平年比 %	入荷量 千本	単価 円/kg
グラジオラス	189	85.1	76.1	79	87.0	102.2	339	81

- グラジオラスは、長野県産が出荷終期となり本県産中心の入荷。入荷量は、猛暑や少雨等の影響により前年、平年比ともに減少。葬儀需要により引き合いが強く、白色が不足感により好調。価格は、高値であった前年よりは安いものの、平年並みで推移した。11月中旬から出荷となる暖地(鹿児島県)産の生育も順調で、引き続き安定した相場が見込まれる。